2019年9月某日

差枚	-705枚、＋12522発	RANK	A

実戦機種

SLOT魔法少女まどか☆マギカ、Pあの日見た花の名前を僕達はまだ知らない

実戦レポート

先頭に近い番号を引ければ毎月恒例の定番機種、2番手グループなら準新台や末尾狙い、それ以外ならもう流れに身を任せるのみ、かな…。そんなことを考えながら引いた入場抽選は「44番」。うん、流れに任せよう！
だがその結果なんと、撤去を間近に控えた「SLOT魔法少女まどか☆マギカ」に座ってしまうとは、自分自身でも少し「やりすぎたな」と打つ前から思ったよ。思ったけど、だがまぁ、今日は生放送の番組実戦でもあるし、どうせ他の高設定候補は取られちゃっていたので、ダメ元でのチャレンジもアリっちゃアリだろう。何せ好きな機種だしね。

しかし、たった数十ゲームで連続演出を経て引いた初当りが直撃ARTと来ては、話が変わってくる。しかも、続けて2つ隣の台も同じように直撃ART。こ、これは一気に全台系も見えてきたか!?　弱チェリー確率やCZの突入率も、おあつらえ向きに悪くないぞ！

そんな状況なので、多少のハマリがあっても粘ってみるぞと気合いを入れなおして続行すると、とても順調にARTには突入してくれるのだが、ワルプルギスの夜が全く引けず、出玉面では伸び悩む展開。一方、2つ隣の台は直撃ARTをその後も何回か引き、出玉に関しても上昇気流に乗りまくった様子。全台系だとすると、あの台が好調なのはむしろ好材料ではある。

この我々2台の動きにつられて、その他の台もパタパタと客が座り、4人並んで全台系の検証がスタートだ。さて、その結果は？　…いや、ダメっぽいな、これ。そう分かったのは、時刻がもう夕方になった頃だった。2つ隣の台が絶好調なのでその気にさせられたが、どうやらアレは当りの末尾に該当していたが故の、単品の高設定だったようだ。自分の台も中途半端に設定推測要素が好調だったので、判別に時間がかかりすぎたぜ。

結局、一時は2000枚ほどあった出玉もついに壊滅して、店内の高設定もほぼほぼ所在が明らかになってしまった。こうなれば奥の手だ…パチンコに手を出すか！　こんな事もあろうかと、企画のタイトルロゴに「パチも可」と追加しておいたのだよ。打つのは先月導入された時から気になっていた「Pあの花」だ。回転率が優秀ならそれで良いし、あわよくば高設定示唆演出とか出てくれてもいいぞ。な～んて冗談半分本気半分で打ち始めたら、100回転ぐらいで当たって龍勢RUSHにも突入し、おまけにぜんぶ10Rで14連チャン。一撃14000発オーバーして閉店間際に取り切ったと同時に、画面には設定3以上確定の銀トロフィーだってさ。出来すぎだぁ!!